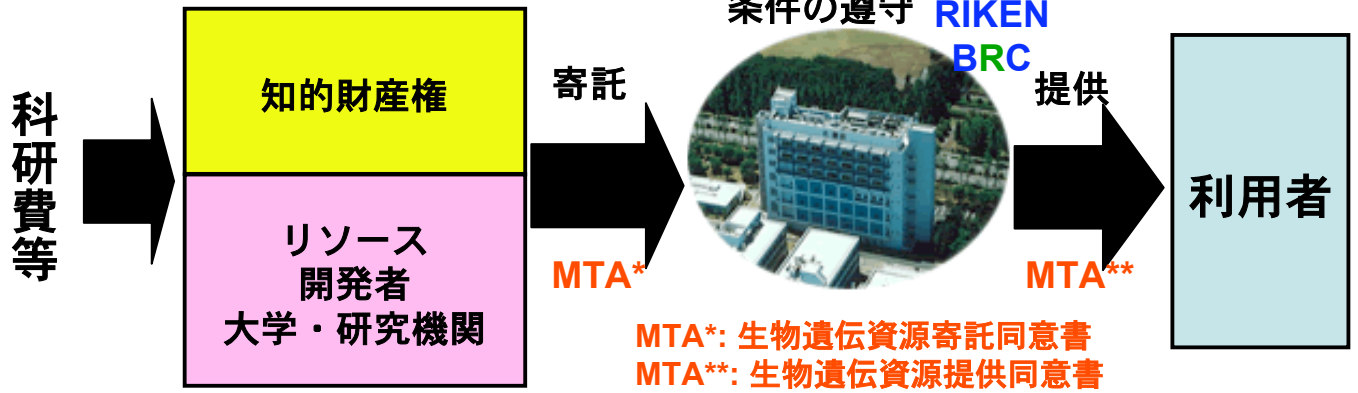


MTAによる寄託者の知財権確保と利用の促進

提供条件の付加（利益の共有も含む）

知財権は移動しない！



寄託のメリット

共同研究の機会拡大や論文引用の増加（引用率88%Up. ATCC調べ）	経費、スペース等、維持管理からの解放	感染事故や培養ミス等の事故の回避、危険分散
		
海外からのリクエスト等、リソースの分与作業の負担軽減	権利・義務の明文化により寄託者を守り利用を促進する	定年退職に伴う研究の中止による試料の散逸、死蔵化を防ぐ
		
異動・退職後の研究の継続が可能	高品質のリソース提供	新たな用途の発見
		

MTA条件例

日本語	英語
公表を前提とした学術研究に限る。	The RECIPIENT agrees to use the BIOLOGICAL RESOURCE only for publication of research papers.
研究成果の公表にあたって寄託者の指定する文献を引用する。	In publishing the research results obtained by use of the BIOLOGICAL RESOURCE, a citation of the following literature(s) designated by the DEPOSITOR is requested.
研究成果の公表にあたって謝辞の表明を必要とする。	In publishing the research results to be obtained by use of the BIOLOGICAL RESOURCE, an acknowledgment to the DEPOSITOR is requested.
寄託者 (and/or 開発者) の承諾を得る。	The RECIPIENT of BIOLOGICAL RESOURCE shall obtain a prior written consent on use of it from the DEPOSITOR/DEVELOPER.
利用者が本件リソースを使用して得られた研究成果に基づき特許等の申請、及び事業活動を行う場合は、寄託者と別途協議を行う。	The RECIPIENT must contact the DEPOSITOR in the case of application for any patents or commercial use based on the results from the use of the BIOLOGICAL RESOURCE.

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1
独立行政法人理化学研究所
バイオリソースセンター
細胞材料開発室 寄託係
http://www.brc.riken.jp/lab/cell/
FAX: 029-836-9130
E-mail: cellbank@brc.riken.jp

寄託して頂いた細胞株は、直ぐに当室のウェブサイトにおいて公開いたします。

寄託細胞株は、現時点で 16,000 種類を超えております。この中で、提供用ロットの作製(以下「整備」という)が完了している細胞は約 2,300 種類でありまして、他の細胞は未着手の状態となっております。論文発表がない細胞株等もあり、寄託細胞の全てが整備の対象ではありませんが、整備を必要とする多数の細胞株が残っております。

細胞の整備には、初期培養・初期検査・大量培養・品質の抜き取り検査・液化窒素タンクにおける保存状態の検査(外に出した際に爆発しないか否かの検査)等々が必要でありまして、ヒトがん細胞株のような一般的な細胞でありましても、着手から整備完了までには約三ヶ月を要します。

上記のような状況下、優先順位を決めて整備を進めているところであります。優先順位といたしましては、利用希望があった細胞の整備を最優先として進めます。次には、既に論文発表がある細胞を優先して整備を進めます。

上記の状況をご理解いただき、ご寄託後に即座に整備を進めることをお約束できる状況にはありませんことを、ご理解いただければ幸いです。

尚、繰り返しとなりますが、当室のウェブサイトを見て利用を希望する研究者がいました場合には(問い合わせがありました場合には)、整備の優先順位を最上位にして整備をいたします。論文を見て、寄託者に利用希望の問い合わせがあった場合にも、寄託者から当方にその旨のご連絡を頂ければ、整備の優先順位を最上位にして整備をいたしますので、是非ご連絡ください。